

日野総合事務所だより



第3回日野郡そばの情景フォトコンテスト金賞作品 『朝光』 松本利秋(日野町)

審査委員 渡里彰造氏による講評 「写真表現の大きな武器であるレンズのボケを使い、幻想的で質の高い作品に仕上がっている。」

Contents

もくじ

(連載)地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話	2
県民局	3~7
福祉保健局	8~9
農林局	10
県土整備局	11

郡民会議	12~15
日野高校	16~17
西部教育局日野郡地域教育担当	18
お知らせ	18~19
日野郡のおいしい雑煮	20



地震から六年。最大の被災地・日野町の山村開発センター二階に、鳥取県が「鳥取県西部地震展示交流センター」を設置、日野ボランティア・ネットワークが委託を受けて運営します。

館内には、写真・資料パネルや図書を展示。記録映像などと併せて、被災や復興の経験を振り返ることができる施設です。

「鳥取県西部地震展示交流センター」にお立ち寄りください

鳥取県西部地震から六年目の一〇月六日、日野町根雨に開館！

日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦



開館以来、県西部地区で被災された方が来られて被災体験を語ってそれぞれの経験を共有したり、県内外から来られた方がこうした経験を聞いていかれたり、様々な交流が生まれています。展示交流センターでは、展示物だけではなく来館される方同士の語りを通して、被災体験や教訓を伝え、これからの防災活動に生かしていこうと考えています。

また、座談会や研修会などを企画していくほか、地域での災害対応やボランティアに関する勉強会などのご相談にも乗り、資料の提供や講師のご紹介などをします。

展示資料も随時入れ替えていきます。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。お茶をいれてお待ちしています。

被災写真、災害対応・支援活動の記録やメモなど、資料をご提供ください！

展示交流センターでは、被災された個人宅や災害対応をされた自治会の記録、支援活動の記録など、公的にまとめられた以外の資料も収集しています。ご協力、お願いします。

鳥取県西部地震展示交流センター ／日野ボランティア・ネットワーク

開館時間：9:00～17:00

(休館日：毎週月曜、祝祭日、毎月第2・4土・日曜)

休館日でも、事前にご連絡いただければ、可能な限り開館します。

〒689-4503

鳥取県日野郡日野町根雨一三〇一

日野町山村開発センター2階

(JR伯備線・根雨駅正面、日野町役場隣)

電話&FAX: 0859-72-2220

メール: hinovnet@infosakyu.ne.jp

HP: <http://www.infosakyu.ne.jp/hinovc/>



地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話

(第21回)

日野郡歴史文化マップ



メインページ

県土整備局では、日野郡の歴史的文化的資産について、みなさんに広く知っていただくために、「日野郡歴史文化マップ」を日野総合事務所ホームページに掲載しています。

(<http://www.pref.tottori.jp/hinosougou/kyoku/kendo/history/>)

「歴史文化マップ」では、日野郡内にあるインフラ施設(・神社・仏閣・史跡・自然環境・無形文化財等をカテゴリ別に検索していただけるようになっており、写真や簡単な紹介文を添えて表示できるようになっています。また、日野郡内の地図からの直接検索することもできるようになっていきます。

インターネットに接続可能であれば、どなたでも検索できるようになっていますので、みなさんこれを機会に気になった箇所があれば、その場所を尋ねて、日野郡の歴史文化にもっともっと触れてはいかがでしょうか。

また、県土整備局計画調査課では歴史文化マップに関するご意見・ご感想を受け付けています。紹介内容に間違いや追加すべき事項があったり、その他の意見でも構いませんので、よりよいマップにするためのご意見をお待ちしております。

インフラ(インフラストラクチャー)施設
生産や生活の基盤を形成する構造物で、
ダム・道路などの産業基盤、学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設等
がこれに該当する。

問い合わせ先

県土整備局計画調査課
担当 岡田 順三
電話 0859-72-2058

「歴史文化マップ」を体験してみませんか

県民局では、県民ホールに、とりネット閲覧用のパソコンを設置しています。

中でも日野総合事務所のページでは、郡民会議をはじめとした日野郡における県政情報(他今回とりあげた「歴史文化マップ」のような、この地域にまつわるお宝情報が満載です)の自由にご利用いただけますが、パソコンが初めての方、苦手の方でも、基本的な操作等、職員が丁寧に指導させていただきますので、お気軽にお立ち寄りください。

白野郡の人のシリーズ④

白野郡で地道に活動し地域振興に一役買っている人を紹介します



今回は鳥取いきいき長寿知事表彰受賞の江府町中尾豊(79)さんです

と登山道の整備を思いついたそうです。平成8年春、坂口さんをはじめとする地元有志13名で「白馬の会」を結成、尾根づたいに登山ルートを切り開き、秋には山頂まで開通させました。

そして翌年春には地元女性会員の協力のもと第1回登山道開きを開催、これには山岳愛好家など約三百人が参加しました。

「今年で10回目になるがいろいろな人と知り合いになった。遠くは山口、徳島などからも来られる。『中尾さんまた来たよ!』とよく声をかけられる。」と満足そうに言われます。

その後、毛無山周辺は国立公園に編入(平成14年)され、平成17年に県が登山道の再整備を行い今では立派な登山道となっていますが、これも地元有志のみなさんのフロンティア・スピリットのおかげです。

また中尾さんは山で拾った木の枝を利用して立派な杖を製作することも趣味の一つで、登山者へも無償で提供しています。

「山開きの時には毎年50本ほど登山口に置いておくんだが、みんなが気に入って持って帰ってしまい、すくなくなる。」と苦笑いされます。

「5時起床9時就寝、毎朝飲む三平山の湧き水と散歩は欠かせない。」「農業の傍ら年10回は毛無山に登り、登山道の草刈りや倒木の撤去をしている。」

と健康の秘訣を語る中尾さんは、山歩き、杖の製作のほか、風景写真の撮影や歴史探訪で『いきいき長寿』を実践していらっしゃいます。

山登りが趣味の中尾さんは、平成6年頃、地元坂口理郎さん、山本信男さんと毛無山、白馬山に向かいました。

当時は鳥取県側からの登山ルートは無く岡山県側から登ったのですが、山頂から麓を眺めながら「道路のついでにサージタンクから頂上までのルートを整備すれば鳥取県側から登れる」



上: 8合目付近のお花畑
下: 4合目から大山・烏ヶ山を望む
どちらも中尾さん撮影



趣味で製作している杖



4月下旬～5月上旬に咲くカタクリの花(中尾さん撮影)



日野郡の歴史セミナー 「楽々福神社と孝霊天皇伝説」

日野郡には楽々福神社が6社ありますが、鳥取県神社誌によると伯耆国と云われた鳥取県西部地区には12社、出雲国には1社あるようです。() 楽々福は「たたら(日本古来の伝統的製鉄法)」の神様です。たたらは神といくと金屋子神を思い起こしますが、楽々福信仰も孝霊天皇やその一族を祭神とするたたら神のようです。

【伝説】
夫々の神社に異なる伝説があり、いずれも孝霊天皇一族にまつわる話があります。口日野大社楽々福神社の伝説は孝霊天皇鬼住山の鬼退治です。「紀氏譜記()」という古文書によると、孝霊天皇御丈七尺、ご面体青く、面頭には三尺の角あり飛行自在の天皇なり、「鷲王は鼻が無く、自由自在に空を飛ぶ」と記述しています。これは大山に來たと云われる役行者(えんのぎょうじや)と大山烏天狗の姿を現していたのではないかと考えられています。



孝霊天皇(想像画)

伯耆町福岡の福岡神社には興味深い伝説が二つあります。「速玉男命()」が熊野灘を船出して遭難したところを蛸(たこ)に助けられ吉備の国に上陸、中国山脈を越えて野上郷福岡に來た。「都の高貴な姫が不治の病にかかり海に流された。蛸が寄って来てその船を守り、日吉津海岸に着けた。そこに潮汲み人が来ていた。人が姫を助けて福岡で養生させ



後醍醐天皇配流コース
島になり、幕末から明治の初め頃まで広がっていた土地は、二〇年毎に「灘に分け」と云って小作農民に分け与えられました。今は侵食されていく弓ヶ浜半島も、伯耆の鬼や出雲のオロチが創り出したものです。

【弓ヶ浜半島の生成】
日野郡や奥出雲など、中国地方は日本最大の和鉄生産地で、砂鉄を採取するため山を削り下流に大量の砂を流していました。千数百年前までは今の弓ヶ浜半島はなく、「夜見ヶ島」や「黄泉ヶ島」と云う島々が点在していました。隠岐ノ島に流された後醍醐天皇の船は安来から美保関へ島の間を一直線に直行したという伝説が残っています。その後、たたらで流す砂が堆積して島々が弓ヶ浜半島になり、幕末から明治の初め頃まで広がっていた土地は、二〇年毎に「灘に分け」と云って小作農民に分け与えられました。今は侵食されていく弓ヶ浜半島も、伯耆の鬼や出雲のオロチが創り出したものです。

た。そして、この話は熊野修験が伝えたと考えられます。即ち修験者は修行と併せて薬草、金属、鉄などを採りにきたと思われま

伯耆の鬼退治伝説とよく似た話が出雲にもあります。出雲国では斐伊川流域で宝物や娘をさらうヤマタノオロチをスサノオノミコトが退治した話です。そして斐伊川でもタタラ製鉄が盛んに行われ、砂鉄から「天叢雲の剣()」が作られました。伯耆国では日野川流域で農民の食物や宝物をさらう鬼を孝霊天皇やその一族が退治し、砂鉄からは五名剣に数えられる「童子切り安綱()」が作られました。

伝説の鬼やヤマタノオロチはタタラ師をあらわし、孝霊天皇やスサノオノミコトはタタラ師と農民との間を和解させた神と考えられます。

我々、伯耆の国の住民は楽々福神社の祭神とスサノオノミコトに感謝しながら、先祖が創り出した弓ヶ浜半島を守り抜く覚悟を持ちたいものです。

- 楽々福神社(ささぶくじんじや)
- 口日野大社楽々福神社(伯耆町宮原)
- 山田神社(伯耆町柘原)
- 菅福神社(日野町上菅)
- 東楽々福神社(日南町宮内)
- 西楽々福神社(日南町宮内)
- 日谷神社(日南町笠木)
- 山口神社(日南町砥波)
- 楽々福神社(日南町印賀)
- 楽々福神社(南部町篠相)
- 余子神社(境港市米町)
- 高杉神社(大山町宮内)
- 佐々布久神社(島根県安来市広瀬町石原)
- 紀氏譜記(きしふき)
- 伯耆町長者原の進(しん)氏に伝わる古文書
- 速玉男命(はやたまのおのみこと)
- イザナギノミコトの子で、紀伊熊野速玉神社に祀られる。
- 天叢雲の剣(あめのむらくものつるぎ)
- 歴代天皇の継承している三種の神器の一つで熱田神宮の神体である。三種の神器の中では、天皇の持つ武力の象徴であるとされる。
- 童子切り安綱(どうじぎりやすつな)
- 源頼光が大江山で鬼酒呑童子を斬ったとされる伝説の名刀。平安時代中期の名刀工・伯耆の安綱が、日野川の砂鉄を精錬した玉鋼から鍛えた。
- 国宝で国立博物館保管

問い合わせ先
県民局 別所秀典
電話 0859-7220083

南波 睦人氏
(溝口ふるさと散歩の会会長)



浜本社長

男女共同参画社会づくりに向け、女性の少ない業種（建設業）ながら、男女ともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる江府町の「浜本組」さんです。

シリーズ 日野郡の元気な会社 (第8回)



日野郡認定第一号

「育児・介護は女性にまかせきりではなく、男性も関わるべきこと。工事現場での管理を5年前より2名体制にするなど、職場で休みが取りやすい環境づくりをしてきたことが認められたようです。」と語る有限会社 浜本組 浜本伸介社長。

「最盛期と比べ現在の仕事量は減少しています。そうした中、一つの工事現場に2名の技術者を常駐させることは安全性の確保という観点からも必要なことでありますし、子供のことなどで急に休暇の取得が必要などときには取りやすい環境だと思えます。現在、女性従業員は全従業員37名のうち5名と少ない職場です。」

鳥取県が行っている 鳥取県男女共同参画推進企業認定制度は、女性の管理職登用等の取組みを行っている企業のことだと思っていました。それがかりではなく、仕事と家庭の両立支援など、男女がともに働きやすい職場づくりを行っている企業でもよいと分かり、今年3月に認定を受けられました。日野郡で認定第一号と聞いて驚きました。以前よりその都度、就業規則などを改正していた



今では男女の役割区分意識はありません

ので、申請に当たり特段整備したことなどありません。」と同社長。

(有)浜本組の主な取組み

資格取得に要する経費を合否に関係なく全額補助されており、その助成制度を利用して事務職の女性社員が2級土木施工管理技士の資格を取得するなど、職種に関係なく能力の向上が図れる環境が整備されています。育児のための短時間勤務制度が、法律の規定を上回る子どもが小学校就学前まで取得できるように規定されているほか、育児は女性ばかりに負担させるのではなく、男性も関わることを考えるのもと、「子どもの看護休暇」の取得を会社として特に力を入れて社員に積極的に働きかけ、実際に男性社員も看護休暇を取得しています。

問い合わせ先

県民局 県民課
電話 08591722085
担当 永見 将

鳥取県男女共同参画推進企業認定制度
男性も女性もともに働きやすく、能力が発揮できる職場づくりに取り組んでいる企業を認定する制度で、現在県内36企業・団体が認定を受けており、毎回申請数も増加しています。
認定企業へは認定証の交付のほか、その取り組みを広く紹介していきます。

企業データ

(有)浜本組
代表者 浜本 伸介
所在地 江府町江尾1748-6
電話 0859-75-2336
FAX 0859-75-2337
e-mail -
http://

日野郡そばの情景フォトコンテスト 入賞作品決定



審査風景

日野郡そば研究会では、第3回目となるそばの花などを題材としたフォトコンテストを実施したところ、これまでで最も多い76点の応募がありました。たくさんの応募ありがとうございました。

10月17日に写真家の渡里彰造氏に審査いただき、各賞を決定しましたのでお知らせします。
(金賞作品は表紙に掲載しています。)



銀賞 「名残の夏そば案内人」 細田京香



銅賞 「しゃぼん玉」 古安宣夫

賞	作品名	氏名	住所
金賞	朝光	松本利秋	日野町
銀賞	名残の夏そば案内人	細田京香	伯耆町
銅賞	しゃぼん玉	古安宣夫	米子市
山陰フジカラー賞	秋風のそば畑	石井盛夫	米子市
佳作	咲いた!	亀尾茂範	米子市
佳作	月のしずく	野坂正昭	日野町
佳作	花と遊ぶ	岡本健二	江府町
佳作	収穫	熊澤 銀	米子市
佳作	約束 - -	橋谷俊二	江府町
佳作	高原の「ソバ畑」	小谷元伸	江府町
佳作	そばと少年	岩崎瑞枝	米子市
佳作	沿線	深田春男	日南町
佳作	日南高原のそば畑	矢田貝昭	日南町
佳作	秋空に伸びるそばの花々	足立啓作	境港市

【今後の展示予定】

11月下旬～ 根雨まちかど美術館



山陰フジカラー賞 「秋風のそば畑」 石井盛夫

11月5日に江府町で開催しました、第3回日野郡新そばまつり会場では多くの人が入賞作品に見入っていました。



問い合わせ先

日野郡そば研究会事務局
(県民局 県民課)
電話 085917212086
担当 塚田 修一

生活の中に運動を!

いちに運動、二に食事、三に禁煙、最後にクスリ

今、注目されているメタボリックシンドロームや糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防には、「内臓脂肪を燃焼させる運動」と「バランスのよい食生活」などの生活習慣の見直しが必要です。運動は内臓脂肪を減らす最も効果的な方法のひとつです。特に運動不足解消には歩くのが一番です。仕事、家事、通勤の時など、日常生活の中でなるべく体を動かすようにしましょう。

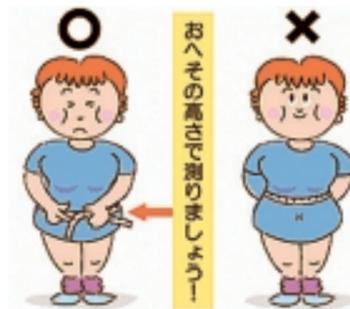
メタボリックシンドロームってなに?

お腹の内臓のまわりに脂肪がたまつた状態を内臓脂肪肥満といいます。この肥満に、高脂血症や高血圧、高血糖のいずれか2つ以上をあわせ持っている状態をメタボリックシンドロームといいます。

メタボリックシンドローム診断基準

内臓脂肪肥満 おへそまわり(腹囲) 男性85cm以上、女性90cm以上
+ 下記のいずれか2つ以上
収縮期血圧 130mgHg以上 又は拡張期血圧 85mgHg以上
血糖値 空腹時血糖 110mg/dl以上
血中脂質 中性脂肪 150mg/dl以上 又はHDLコレステロール 40mg/dl未満

腹囲の正しい測り方



*イラストは <http://www.metabolic.jp/index.htm>から引用

運動習慣改善の行動プラン

- ・有酸素運動で脂肪を燃焼
- ・筋力トレーニングで体の機能アップ
- ・ストレッチングでしなやかな体に

問い合わせ先
福祉保健局 保健衛生課
電話 0859-72-2036
担当 阿部 暁子

12月1日は世界エイズデーです!

LIVING TOGETHER ～私にできること～

日野保健所では、エイズに対する理解を深め、感染の予防、差別や偏見の解消を図ることを目的に、郡内の学校と連携してキャンペーンを実施します。

今年度は、世界エイズデーにあわせて、HIV迅速検査を行います。近年、HIV感染者・エイズ患者の年間新規報告数は1000件を超えており、このうち診断時にすでにエイズを発症している者は約3割を占めています。感染の発見が早ければ治療の効果も上がり、パートナーへの感染を防ぐことも出来ます。

県内の各保健所でも休日や・時間外の検査を実施しており、検査を受ける人の数は増加、検査が身近になりつつあります。皆さんもこの機会にエイズの正しい知識を学び、検査を受けましょう。

HIV迅速検査を実施します!

その日に結果がわかります。

とき 平成18年12月4日(月) 午後3時30分～6時30分

ところ 日野総合事務所第二庁舎(日野町根雨7-1)

内容 血液検査(HIV迅速検査、性感染症検査)

申込み 事前に電話で予約をお願いします。
(平日8時30分～5時30分 *当日でも受け付けます。)

街頭キャンペーンを行います!

日野郡内小・中学校と協力し、エイズ予防の呼びかけ等を行います。日野高校・総合事務所内でパネル展示を行います!

問い合わせ先
福祉保健局 保健衛生課
電話 0859-72-2037
担当 吉田 真希子

運動普及の取り組み紹介シリーズA (次回は日南町)

「江府町ウエルビクス運動教室」など

江府町では、脳卒中や糖尿病の予防対策として運動普及に取り組みんでいます。今年度から始まったウエルビクス運動は筋力づくり、有酸素運動、柔軟運動、バランス運動を組み合わせた運動で、高齢者でも安全に取り組むことができます。また、はつらつ運動クラブやあすなる会等の自主グループも活動しています。

今年度実施内容

ウエルビクス教室	年間10回2コース
ウエルビクス練習会	糖尿病予備軍や治療中の者 毎週月曜日 興味のある者
いきいき運動教室	年間10回 柿原・美用集落
はつらつ実践運動教室	年間10回 興味のある者
はつらつ運動クラブ	月2回 運動教室修了者
糖尿病友の会あすなる	随時 友の会会員



ウエルビクス練習会



仲よしウォーキング

鳥取県自然保護監視員制度が始まりました。

日野郡内の担当は、藤原 敏博 です。従来の自然公園監視員と鳥獣保護員の業務を行います。

《自然公園関係に係る業務》

- ・自然公園内における動植物の違法採取等の違反行為の監視及び指導
奥日野県立自然公園、比婆道後帝釈国定公園、大山隠岐国立公園の一部が含まれます。

《鳥獣保護関係に係る業務》

- ・鳥獣保護区及び銃猟禁止区域等の管理及び巡視
鷺の池・日南湖、道後山鳥獣保護区域が指定されており、鳥獣保護区内では狩猟はできません。
- ・狩猟の巡視
有害鳥獣捕獲に係るものを含みます。

その他にも

神戸上自然環境保全地域の巡視、野生生物及び希少野生動植物等の生息状況調査、自然保護思想の普及啓発などの業務を行います。



問い合わせ先
福祉保健局 担当 秋田 麻美
電話 0859-72-2039
県民局 担当 土井 一寛
電話 0859-72-2085



集落の資源・環境を守ろう！

農地・水・環境保全向上対策事業

日野郡の農村、田舎の風景・自然環境など、皆様の地域のかげがえのない財産を集落の共同活動で守りませんか！

あなたの地域の将来は大丈夫？

- ・ これまでは集落の共同活動により、水路や農道などが保全管理されてきました。
- ・ いま、集落では高齢化や農家・非農家の混住化の進行のため、農地や水路などを守る「まごまり」が弱くなっています。
- ・ これからの集落の機能を守っていくためには、今まで以上の取組が必要です。

平成19年度から「農地や水路・農道などを守る共同活動を支援する新しい制度」がスタートします。

〔農地・水・環境保全向上対策事業の概要〕

非農家も含めた「共同の保全活動」への支援

「共同の保全活動とは？」



水路の泥上げ・清掃

水路や農道の草刈りや清掃など、これまでの保全活動に加えて、施設を長持ちさせるような手入れや農村の自然や景観を守る地域共同活動

10a当たり助成金
水田 = 4,400円
畑 = 2,800円
草地 = 400円
国:地方 = 50%:50%
農振農用地が交付金算定の対象となります。

日野郡の宝もの

歴史的・文化的資産を訪ねる

鋼製スリットダム

(日南町・茶屋)

日野川水系小原川(日南町茶屋)にあるダム(高さ6・9m、幅32・5m)。台帳によると昭和44年に施工されており、通常のコンクリート製のダムとは違って、ダム中央部(幅6m)が鋼製のスリット構造となっており、比較的めずらしいダム形式といえることができます。

この構造によるメリットは、有害な土砂(例えば一時的に発生した土石流)等をせきとめ、下流への流出(被害)を防ぐと同時に、通常時に発生する土砂(普段から自然に流下する土砂)はスリット間から下流に流出させ、ダム下流や長い年月をかけて到達する海への土砂の供給を妨げないことです。こういった構造をとることによって自然環境にやさしいダムとなっています。(写真はダムに土砂が堆積している様子)



県内の積雪状況がパソコンや携帯電話で確認できます！



昨年より確認できる箇所が増えました

NEW!

携帯用QRコード



<http://www.infosakyu.ne.jp/sekisetu/> (パソコン)

<http://www.infosakyu.ne.jp/sekisetu/i/> (携帯電話)

問い合わせ先

担当 電話 県土整備局 維持管理課
金子 聡 0859-722046



昨年の除雪風景

「除雪にあたってのお願い」

- ・ 除雪の妨げになる路上駐車は止めてください
- ・ 車道への雪出しは止めてください
- ・ 早めのチェーン装着をお願いします
- ・ トラックはダブルチェーンを装着してください

県内の積雪状況をインターネットで！

今年も雪のシーズンがやってきます。鳥取県では12月1日から翌年3月31日までを除雪期間としています。除雪作業が終わるまでの間は、通行される方に不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

この事業の主体は地域住民の方々です。活動についてもですが、その計画や組織も地元で作らなければなりません。事業の質問やご相談は、気軽にご連絡ください。



問い合わせ先

担当 電話 農林局 地域整備課
美田 俊一、藤縄 和彦 0859-722013
2014

支援を受けるには？

- 活動組織の対象地域をまとめます。
- 非農家も含めた活動組織をつくりましょう。
- 活動組織の規約をつくりましょう。
- 五年間の活動計画をつくりましょう。
- 活動計画や資金計画などについて、町と協定を結びます。
- 助成金が交付されます。
- さあ活動を計画どおりに実践しましょう。
- 活動の実施状況を記録し、報告しましょう。



水路の目地補修



水路沿いに花の植付



生き物調査の実施

化学肥料と農薬の使用を大幅に減らすなどの「環境にやさしい農業」への支援
なお、支援の内容や要件等の詳細については、別途問い合わせください。

【お知らせ】

以下の郡民会議で出た意見及び県の処理方針については、読みやすさやページ数の観点から、鳥取県日野総合事務所において必要に応じて要約をしておりますのでご承知ください。なお、正式な内容については、日野総合事務所のホームページに掲載しております。

第3期委員第1回日野郡民行政参画推進会議での意見について(要約) (平成18年8月6日開催)

1 各種会合において高齢者を加えることについて

Table with 3 columns: 会議意見, 現状・経過, 処理方針等. Content discusses adding elderly members to meetings and improving recruitment methods.

2 情報公開について

Table with 3 columns: 会議意見, 現状・経過, 処理方針等. Content discusses information disclosure via homepages and various media.

3 在住外国人への支援について

Table with 3 columns: 会議意見, 現状・経過, 処理方針等. Content discusses support for foreign residents through international exchange associations.

4 鳥取県文化芸術活動支援交付金について

Table with 2 columns: 会議意見, 現状・経過. Content discusses the criteria and process for cultural and artistic activity support grants.

郡民会議に運営委員会を置くことになりました。

第3期委員の第2回目の郡民会議を、10月7日(土)に日野総合事務所大会議室で開催しました。

会議では、郡民会議の進め方について議論をされ、多様な意見が交わされる中で、今後の会議の進め方を検討するため、代表による「運営委員会」を設置することになりました。

運営委員会について

構成(8名)

会長、会長代理、各町2名

役割

会議運営について少人数で検討をする。

【次回会議は...】 日時: 平成18年12月2日(土) 10時から 場所: 日野総合事務所大会議室



主な発言

【Uターン】

Uターンされた方はなかなか地元と交流ができない。昔からの田舎の風土が障害の一つになっているのでは。Uターンで高齢者を引き受けた町では、介護保険料などの負担は若い人に行く。親をみるべき人は町外で非常に不義を感じる。

【少子化】

教育にお金がかかる。一時金ではだめ、教育にお金がかからなくなれば、もう少子化が多くなってはと思う。

また、第2回会議では、「Uターンについて」「少子化、農業後継者不足について」等の特定テーマについて日野郡地域の課題という視点で広く意見交換をされました。



第2回会議の意見について

第2回会議で出た県政への意見については、日野総合事務所ホームページに掲載しております。また議事録は総合事務所において閲覧できます。

第3期委員の第1回会議の意見に対する県の処理方針等について 平成18年8月6日(日)に開催した「第1回鳥取県日野郡民行政参画推進会議」での意見に対する県の処理方針等については、次ページ以降に掲載しております。

問い合わせ先

県民局長 担当 三木 電話 0859-72-2084

8 切捨て間伐について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>今回、大雨で日南町矢戸地区にもかなりの被害があったが、いろんなところ被害があったのは、山から切り捨て間伐の木材が出て、それが水路に詰まったりした被害が大変多かったのではないかと感じたので、住居の周りの辺は考慮していただいたらと思う。</p>	<p>今回の大雨での樹木流出の特徴は次のとおりでした。 ・間伐の実施・未実施区域に関わらず、木が流出しています。 ・根付きの立木、腐朽した木の流出が多く見られます。 ・斜面にある間伐木が下流に押し流された形跡はみられません。</p> <p>これらの特徴が見られた原因としては、7月の梅雨前線豪雨により、溪流の流量が増加したことで深岸浸食が発生し沢に落ち込んでいた、過去の台風・雪害等で被災した倒木などが、土砂とともに下流に押し流されたものと考えられます。</p>	<p>・災害に強い健全な森林を造成するため、間伐等の森林整備について早期実施の必要性を普及・啓発します。 ・間伐作業においては、沢に伐採木を倒し込まないよう森林所有者等への周知を図ります。 (林業改良指導員による地元説明会や現地研修及び日野総合事務所だより等を活用) ・県営事業については、仕様書で沢へ間伐木を倒し込まないよう明示します。 {県営林事業、とっとり環境の森緊急整備事業、保育事業(本数調整伐)}</p>

9 県の奨学金制度について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>子供の大学進学で県の奨学金のお願いをした。締め切りが4月28日だったが、実際に決まるのは6月の末だった。 困っておられる方がいたら、もっと早く対応しないとイケないと思う。書類も本当に面倒。</p>	<p>育英奨学金は就学意欲はあるものの経済的理由により進学を断念せざるを得ない方に就学資金を貸与する制度であり、成績要件、所得要件に基づき選考会により貸与者を決定しております。 申請書について、本年度は4月28日までに卒業高校に提出いただき、卒業高校から推薦書とともに県教育委員会へ提出していただきました。 入学式が4月下旬の私立大学もあり、それに合わせて申請書提出期限等のスケジュールを設定しておりますが、例年、在学証明書や所得証明書等の添付書類の不備が多く、貸与決定が7月にずれ込んでおりました。早期の貸与決定を望む声があることから、本年は6月末に貸与決定を行ったところです。</p>	<p>大学入学後に申請いただく場合の貸与決定は、現在より早めることはできないと考えています。 なお、育英奨学金(大学分)については、高等学校在学中に申請できる予約制度があり、安心して受験勉強に専念できる。大学入学後に直ちに奨学金を受けられることができます。 といったメリットがあります。 各高等学校を通じて周知しているところですが、更に周知を図りたいと考えています。</p>

10 子供のボランティア活動の促進について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>今の子供は、近所の人をよくするとか、高齢者の人に声かけたりするとか、そういうことに日常的に余り関心がないのが実感。 子供の時期に、他人の思いやりとか、そういう優しい心を引き出すようなことを、例えば夏休みにボランティアノートとか、そういうものを設けて計量的に時間とか、何日間とか、をつけるような形に持っていけば、自然とボランティア精神が身につくと思う。 そうすれば自然と大人になってから、気軽にボランティアに参加するようになると思う。 子供が本当に目覚める時期に、知識のみじゃなくて、ボランティア活動ということにも関心を向けるような形をとっていただければどうかと思う。</p>	<p>学校での様々な教育活動の現状把握のために実施している「平成17年度学校教育の成果と課題」の結果によると、ほぼ全ての公立小学校・中学校において、各教科や総合的な学習の時間などで、『地域の保育所や施設との交流活動』『地域の清掃・美化活動』『地域の福祉関係行事への参加』などのボランティア活動に取り組んでいる現状が見られます。 また、多くの学校では、休日や長期休業中などには、家庭や地域でのボランティア活動に進んで取り組んでいくよう働きかけをしているところです。 さらに、「豊かな体験活動推進事業(文部科学省の指定事業)」を受けている2市町村(倉吉市2校、日野町4校)や、9校の研究推進校(日置小、俣野小、河北中、鳥取湖陵高校、西郷小、青谷小、中郷小、日置谷小、勝部小)では、地域におけるボランティアなど社会奉仕に関わる体験活動のモデル的な取組を試行しているところです。</p>	<p>2月に開催する鳥取県教育研究発表会において、文部科学省指定事業「豊かな体験活動推進事業」の推進地域・推進校の実践発表を行い、県内の学校にその成果を還元することにより、ボランティア活動の意義等の周知を図っていききたいと考えています。</p>

5 乳幼児健診について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>子育て支援で乳幼児健診が、鳥取県等は乳児健診の目的みたいなものが、発育、発達をただチェックするという形になっているところがまだまだ多いので、子育て支援の一環としての乳児健診のあり方というのを県政としても考えていただきたい。</p>	<p>乳幼児健診は、発育発達の診査のみならず、育児不安など養育上の問題の発見と支援を行う、県・市町村の重要な母子保健サービスとして取り組んでいます。 具体的には、健診結果に基づき、保健師・栄養士・歯科衛生士・臨床心理士などの専門職が保護者の相談や保護者同士の交流促進等により、子どもたちの健やかな成長を支援しています。 日野郡内の町では、健診会場に母子同士と一緒に遊び、交流する場を持ち、さらに育児学級のような場へつなげ、アロママッサージ等を通じ、お母さん同士の交流をしていただく中で、安心して子育てをしていただく取り組みもなされています。 また、健診会場において、「乳幼児の転倒防止」等のミニ教育を盛り込んだり、ブックスタート(絵本の読み聞かせ)事業として、発達に合わせた絵本の紹介、配布等の取り組みも行われています。</p>	<p>平成17年3月に策定された「とっとり子ども未来プラン(鳥取県次世代育成支援計画)」においても、「母子保健・医療の充実」を重点施策のひとつに掲げており、今後子どもたちが心身ともに健やかに育つために一層充実させていきたいと考えています。 現在、乳幼児健診は市町村が実施主体として行われていますが、県としても、「鳥取県母子保健対策協議会」において、市町村で実施されている健診の状況を把握するとともに、子育て支援を強化するための「5歳児健康診査実施体制整備事業」を実施しています。 今後も、市町村において子育て支援が一層推進されるよう支援をしていきたいと考えています。</p>

6 障害者アンケートについて

会議意見	現状・経過
<p>今回の障害者アンケートについては、精神障害者を対象にした内容が非常に多くて、ほかの障害者に対するアンケート項目が非常に少なかった。 このアンケートに対する調査されたことがいつ発表されて、どのようにそういったものをこの障害者に対する施策の中で生かされていくのかを聞かせて欲しい。</p>	<p>ご指摘のアンケートは、障害のある方の実態やニーズに関する調査を行ったもので、今年度中に県が結果報告書を取りまとめることとしていますが、各市町村ごとの集計結果は、当該市町村へ本年10月に送付しています。 今回のアンケート調査については、身体障害・知的障害のある方と精神障害の方とはそれぞれ異なる内容になっております。 なお、この調査を踏まえ、各市町村は、市町村障害福祉計画を平成19年3月までに策定し、県は、市町村障害福祉計画を踏まえ、鳥取県障害福祉計画を策定します。 市町村障害福祉計画には、平成23年度末まで実現させる障害福祉サービスの基盤整備の数値目標を具体的に設定することとなり、毎年、数値目標をどれだけ実現したかを評価します。 市町村は、障害のある方等の意見を聴いた上で障害福祉計画を策定することが求められています。障害のある方にとって住みやすいまちづくりのため、この機会に、障害のある方や御家族の声をお住まいの町へお寄せください。</p>

7 林道等の整備について

会議意見	現状・経過	処理方針等
<p>林道とか、農免道路とかを工事をするとき、水を切るU字管とか、現地の設計が机上でなくてもう少し現地に合わせたものがあつたらと思う。 せっかく途中までつけた農免道路が、また今年の7月の雨で流れてもとに戻ってしまう状態がたくさんあるので、そういうところをもう少しお願いしたい。</p>	<p>窓山線の新屋工区は平成11年から改築工事(既設林道の幅員拡張)を進めており、ご指摘のあった区間は、平成18年度に舗装工事(延長440m)を行う予定の箇所です。 7月の梅雨前線豪雨で、道路表面の土砂が浸食される被害を受けましたが、車両の通行に支障がでないよう、速やかに路面補修を行いました。 現在では舗装工事も完了し、路面浸食の恐れは解消されています。</p>	<p>降雨等による被災を少なくするためには早期に舗装することが必要ですが、舗装は土工事が終わって1~2年後となりますので、排水対策には、注意を払っているところですが、今後とも、現地状況をよく調査し、排水対策を行ってまいりたいと考えています。</p>

芸術の秋！スポーツの秋！！みのりの秋!!!

豊かな体験活動
黒坂小学校二・三年生と日野高生との交流も今年で三年目となりました。今年は根雨小学校の

黒坂施設からは、二つの農業体験を通じた交流活動について報告します。
担当 高垣 寛明

就職試験は九月の山場を越えて現在のところ応募者の七割六分の内定率である。これはほぼ例年並みの結果である。
一方、進学は十月から推薦入試の受け付けが始まった。少しずつ結果が出始めているが、入試はこれから重要な時期となる。
粘り強く、全員の内定と合格を目指して努力していきたい。
以上のよう
うな進路室
状況が十月
二十二日の
県立武道館
十月二十五
日の日野高
校での学校
報告会で報
告されまし
た。



収穫後、自分たちで掘ったサツマイモを蒸かし、食べました。「おいしい」と言いながら、一人で二本三本と食べている児童もいました。持ち帰る際も、袋いっぱい芋を詰め込んでいました。
今回の交流を通して、農業の楽しさや大変さを少しでも知って貰えれば嬉しいです。



一年生も参加し、サツマイモの植え付け・収穫を体験しました。
春に植えたサツマイモの苗も十月の収穫の時期には大きく育ち、中には顔ほどの大きさに成長したサツマイモも収穫することができました。



田んぼの学校
今年も本校黒坂施設の田んぼを利用し、田んぼの学校を開講しました。本年は二家族の参加となり、六月、田植えを行った。収穫までの間、水田周辺の草刈やヒエ取り、水田周辺の草刈など、多くの農作業の体験も実施した。
九月、収穫の時期をむかえ、稲を手刈りし、ハデに掛け作業を行った。大変な作業だったが、自分たちが管理して来た稲だけあって楽しそうであった。
最後の収穫祭では校内の野菜を利用し、新米にあった料理をそれぞれが作り、食べて収穫を喜んだ。



日野高校



文化の秋！ということですが、今回は我が校の文化事業について紹介します。

地域の祭りに参加して

郷土芸能顧問 林原 和子
十月七日には妻木晩田遺跡で行われた「秋麗まつり」で十月十四日には大山トレーニングセンターで行われた「大山子供を育てる会」で、十月十五日には黒坂小学校の体育館で行われた「菅福・黒坂地区敬老会」で、それぞれ荒神楽の公演を行いました。



野外テントであったり、狭かったりと三カ所とも決して条件のよい会場ではありませんでしたが、観客の方ととても近い距離で舞うことができ、生徒達は熱いものを感じることができ感激していました。
また、高齢者の方や幼児など異世代との交流もよい刺激となり、紙芝居やパフォーマンスをするなど、いつもの公演とは一味違う演出も楽しみました。



ミュージックワークショップ

担当 石黒 信行

十月六日(金)から八日(日)にかけて開催されたミュージックワークショップは、講師陣に全国大会に出場されたり演奏活動をされている方々をお呼びすることができ、また受講は本校生徒の他に、合唱部門には米子西高校・一般合唱団「おしどりたち」、弦楽部門には米子東高吹奏楽部門には日野中学校・溝口中学校・岸本中学校の皆さんも参加していただき、どの部門も短期間ではありましたがそれぞれ実のある講習会になりました。最後に一堂に会しての成

果発表会は、日野高校の生徒たちをはじめ参加者全員がこの音楽体験を通して成長できたと思える内容の演奏でした。



学校祭について

生徒部 廣田 省治

八月末から三日間、第五回日野祭が開かれました。
「青春リバース」をスローガンに掲げ、生徒たちは高校生活の思い出づくりに一生懸命取り組みました。
文化の部では、クラスや文化部のステージ発表で様々な工夫をこらし、夏休みをかけての練習の成果を見事に表現し、その他の催しや模擬店でもお互いが協力しながら楽しく活動してい

ました。体育の部では、二十二人二十三脚競争や綱引きなど団体種目を多く取り入れ、クラスの団結力を発揮し取り組んでいきました。生徒たちには充実したものとなったことと思います。
学校祭を陰で支えた執行部員たち、そして多くの皆さんのご協力に感謝いたします。



進路室より

進路担当 福田 智恵

「失礼します」「ありがとうございました」面接練習の大きな声が廊下や教室のあちこちで響いている。職員室でも数学や英語の学科試験の個人指導を受けている姿を毎日のように見かける。

心とからだいきいきキャンペーン



大切です！
生活リズムや家庭・
社会のマナー

テレビ等の視聴時間(平日・小3)



鳥取県教育委員会ホームページ
<http://www.pref.tottori.jp/kyouiku/>

今年四月に行われた基礎学力調査の分析結果が、鳥取県教育委員会のホームページで公開されています。そこで、昨年と今年の小学三年生の平日のテレビ視聴時間の変化を見てみました。

県はほとんど変化がありませんが、日野郡は明らかに視聴時間が増えています。実は、今年の小三の視聴時間は、昨年十一月の小二時点でのアンケートでは、五時間以上が三%、五時間未満が五%でした。

このような郡内の実態を把握するために、昨年に引き続き、今年も日野郡三町の教育委員会等の協力のもと、郡内の保育所(園)、小・中学校のすべての子どもとその保護者を対象に、今月中にアンケート調査を実施する予定です。ご協力よろしくお願いたします。

問い合わせ先
西部教育局 日野郡地域教育担当
電話 0859 72 2075
担当 清水 和祥

消費生活センターからのお知らせ

ご注意ください！催眠(SF)商法！

サイミン(SF)商法とは

催眠商法とは、販売員が家庭を訪問するなどして、主婦や高齢者を会場に集め、日用品などを次々に無料で配り、熱狂的な雰囲気を作り出して、最終的には高額な布団(温熱治療器等)医療器具などを売りつける商法で、多数の相談が寄せられています。

相談事例

ある日、自宅に業者の男性がやって来た。
「近所に新しく店を出す。宣伝のため、色々な商品を配るから来て欲しい。」とつくつく誘われ気軽に出かけた。

会場では、次々と無料で品物が配られ、次第に会場の雰囲気が興奮に包まれていった。

最後に特別価格で提供するといって、業者が温熱ヒーターをしきりに勧めた。

結局、その場の雰囲気にのまれて温熱ヒーターを契約し、自宅に持ち帰ったものの、冷静になってみると、やっぱり不要なので解約したい。

アドバイス

最初にきっぱりと断る！

しつこく会場に誘われて…
会場に行くと、粗品等の何十倍もの高額な商品を買わされたり、高額な商品を購入するまで、会場から帰らせてもらえなくなったりする恐れがあります。

契約をしてしまった！ 契約書面が交付された日を含めて8日以内であれば、クーリング・オフ(無条件解約)することができます。

クーリング・オフ期間経過後も解約できる場合がありますので、できるだけ早く消費生活センターへご相談ください。

鳥取県生活環境部消費生活センター 西部消費生活相談室

米子市末広町294(米子コンベンションセンター4F)
電話 0859 34 2648・2668



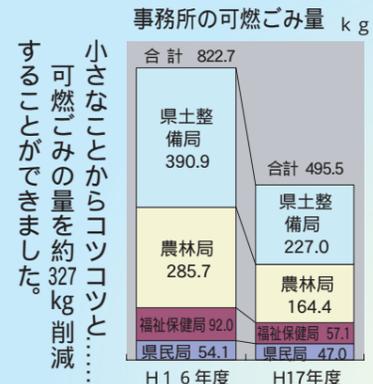
環境にやさしく 己にきびしく

鳥取県では環境に関する国際規格のISO14001を取得し、次のような取り組みを実践しています。

- * 地域の環境活動への参加
- * 各種環境保全や環境月間等の情報発信
- * 職員を派遣し、町民講習会、食生活改善推進員講習会を実施
- * 公共事業に積極的に間伐材を使用
- * 間伐搬出経費を補助し、間伐材の持ち出しを支援
- * 花のプランターと花壇の設置
- * 道路・河川の清掃活動の実施

環境のために私たちが取り組んでいること

- 二酸化炭素排出量の削減
不要な照明の消灯(昼休憩、日中の窓側トイレ等)
冷暖房の適正温度管理
(夏28、冬18)
- グリーン購入の推進
環境配慮型商品の購入
- 廃棄物の減量化
両面コピー、庁内LANの活用等用紙使用量の削減
古紙回収等リサイクルの推進
ペーパーシュレッダーダストの分別回収
分別排出の徹底等
ゴミ箱は各部屋に1個
割箸は回収、紙原料へ
- 夏期の軽装(クールビズ)
- 不要なOA機器の電源OFF



問い合わせ先
県民局 企画総務課
電話 0859 72 0321
担当 青砥 聡

黒坂警察署からのお知らせ

飲酒運転の根絶

飲酒運転(四)しない運動の実践

- ・酒を飲んだら運転しない
- ・運転する人に酒をすめない
- ・飲酒運転は重大な犯罪です！絶対に許せません。
- ・飲んだら乗るな。乗るなら飲むな。
- ・飲酒運転の共犯者になっていませんか？
- ・車を運転する人に酒を勧める行為
- ・酒を飲んでる人に車を貸す行為
- ・飲酒運転するようそのかす行為
- ・飲酒後の時間の目安はない。飲んだら乗らないこと
- ・体内のアルコールは意外と分解されないものです。自分は強いから等と安易な判断は禁物です。

すべてが
処罰の対象！



黒坂警察署の警察安全相談窓口
代表電話 0859(74)0110

第四回日野川源流米コンテストの入賞者が決定！

第四回日野川源流米コンテスト食味鑑定会・表彰式が、十一月一日(水)に日野町山村開発センターで、生産者、農協等関係機関、米卸業者等が参加して盛大に開催されました。

審査結果

今回のコンテストには百二十一点の出品がありました。本年の審査は三種類の食味計で食味値を計測しましたが、食味レベルが高く、特に上位者は甲乙つけがたいものでした。審査方法は、それぞれの食味計の最高得点を最優秀賞候補として選抜しました。

表彰者の方々

- 【最優秀賞】 船越 勲さん(日南町)
- 【優秀賞】 久木 育雄さん(江府町)
- 【優秀賞】 加藤 茂子さん(江府町)
- 【奨励賞】 川上 宏さん(江府町)
- 川上 秀治さん(江府町)
- 川上 直樹さん(日野町)

**日野郡の美味しいお雑煮…
(孫に伝えたい美味しいお餅)**

先月は「先祖代々引き継がれるおいしい料理アンケート」にたくさんの方から回答をいただきました、大変ありがとうございました。

「お雑煮」は、色々な味付けや添える具によって、地方ならではのさまざまな形があります。子供の頃から食べている味が何よりもおいしいと感じられる方も多いと思いますが、日野郡の大半の家庭では、中山間地でありながら、海の幸をふんだんに使った、とても贅沢なおいしいお雑煮です。

今回は、アンケートの中で一番多かった作り方を紹介しま

① だしを取る、しょう油で味付。



② ブリを入れます。



③ ONE POINT!

ブリは煮ると旨いので、煮汁はそのままに、煮汁を少しだけ取り、しょう油で味付けして、お雑煮に入れます。



④ 具を入れていきます。



す。

日野郡産の美味しいお餅を、程よくゆで上げ、100%餅の食感を引き出し、まろやかなコクのある醤油ベースのだし汁を掛けて、豊富な具を添えることで、朝・昼・晩と、何度食べても飽きのこない季節の味です。

たくさんの方に味わっていただきたい、そんな思いです。

今回、一部の方ですが、取材をさせていただきました。回答していただいた全員の方から、たくさんのお話をお聞きした

いところですが、時間的に聞き取ることができなかったことを、深くお詫びいたします。今後、お話をうかがう機会もあられると思いますので、そのときにはお願いたします。

問い合わせ先

農業振興課
足立 72-2002
日野普及所
森田 72-2026

④ 別の汁で煮たお餅を入れます。



⑤ 汁液にゆでたお餅を入れて、汁を吸わせればできあがり。



取材させていただきました！

○日南町 原さん

正月前の餅つきは四人搗きで、にぎやかに唄いながら近所で協力しあって大量に搗いたものでした。その時に出来るご馳走に「こおらがし(びりびり)」や「乾し肉」があります。この伝統料理は作っています。また正月用の餅を並べるための「がまむしろ」を編む祖母の姿を忙しそうな母の姿と共に懐かしく思い出します。

○日南町 倉間さん

酒でといたかもじのりをせるのが我が家の雑煮です。赤貝はかますで大量に買入れ、子供の仕事はこの赤貝洗いでした。海の幸が多く入った雑煮はふるりの自慢の一つとして伝えて行きたいと思っています。

○日野町 松浦さん

家族総出で朝早くから餅を何斗も搗いた。かもじのりを酒でとき雑煮に入れた。祖父が酒に弱く、入れ過ぎて、顔を真っ赤にしていたのを思い出します。昔は家族も多く賑やかな正月でした。

○江府町 筒井さん

二十八日に餅搗きをした。早朝から親戚、近所が寄って搗いた。最後の白は「千石、万石、十万石」と言ってちぎり、餡を付けて食べた。水を使わずに五人で搗いた。雪が降っている間は朝食は餅だった。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



このカタログの印刷は、環境にやさしい植物性大豆油インクを使用しています。

編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1
TEL 0859-72-0321 FAX 0859-72-2072
E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL http://www.pref.tottori.jp/hinosougou/